

## 令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 社会 (地理的分野)

番号	発行者略称	教科書番号
観点	東書	地理・002-72
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の地域構成」において、地球儀や統計資料などから、世界各国の人口、面積、国境、国旗、宗教など、その国や地域についての関心や文化などを尊重する態度を育む活動</li> <li>・「日本の地域構成」において、日本と世界との時差や都道府県の名称や位置を調べたり、日本の地理的な特徴や知識を学ぶとともに、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真などから位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動</li> <li>・「世界各地の人々の生活と環境」において、6つの事例地域と東京の雨温図を比較しながら気候の特色を捉えたり、生活様式がどう変わるのかを考察するとともに、宗教による文化の多様性を理解したりする活動</li> <li>・「世界の諸地域」において、世界各州の自然環境や歴史、産業から州ごとの地域的特色を捉えたり、アジア州では、「経済発展は、地域にどのような影響をあたえているか」という主題を設けて、地理的特色を理解したりする活動</li> <li>・「地域調査の手法」において、兵庫県神戸市を事例に、地形図の読み取りや調査を行う際の視点や方法について理解したり、適切な主題を設定し、計画的に資料を追究、考察して話し合い、多面的・多角的に考えをまとめたりする活動</li> <li>・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色を捉えたり、地震や津波発生の仕組み、防災・減災の取組について理解したりする活動</li> <li>・「日本の諸地域」において、自然環境や人口、産業、交通・通信、生活・文化から7つの地方の地域的特色を捉えたり、「近畿地方の都市と農村は、どのように変化してきたか」という主題を設け、地域の課題を理解したりする活動</li> <li>・「地域の在り方」において、広島県における地域おこしや観光業の活性化、外国人の観光客を増やすための取組について議論したり、「地域のこれから」について発信したりする活動</li> </ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習の導入部に生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を設けたり、小集団での参加型学習である「みんなでチャレンジ」を配置し、グループで対話したりする学習活動が取り上げられている。</p>	
分量・内容の構成等	<p>○ 内容の構成・排列については、「世界の姿」と「日本の姿」、「世界のさまざまな地域」と「日本の様々な地域」の比較から、世界各地の生活や課題について考察したり、日本の地域的特色を理解したりする学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。</p>	
使用上の配慮等	<p>○ 「日本の諸地域」において、北海道の地域的特色を背景にしたアイヌ民族の文化を取り上げる「未来にアクセス」を設け、歴史的背景についても理解を深めることで多文化共生の重要性や多様性を尊重する態度を育むような工夫がなされている。</p> <p>○ 各単元の導入部で、章や節を貫く「探求課題」を設定する活動や1時間の学習課題を解決する「チェック&amp;トライ」、単元を振り返る「探求のステップ」を掲載するなど、課題を追求したり、解決したりする主体的で対話的な学習活動ができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒が使いやすい紙面への配慮として、教科書全体でユニバーサルデザインフォントの使用や、色覚特性がある生徒にも見分けやすいグラフや地図の配色とともに、学校でも家庭でも学習できるように二次元コードを読み込んで学習できるコンテンツを掲載し、1人1台端末を活用できるような工夫がなされており、大変よくできている。</p>	
その他	<p>※中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> <li>○ 畑作が盛んな十勝平野の紹介として土幌町の写真を使用したり、地産地消の例として、帯広の菓子メーカーの話題をコラムに掲載したりしている。</li> </ul>	

## 令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 社会 (地理的分野)

番号 観点	発行者略称	教科書番号
取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	教出	地理・017-72
分量・内容の構成等	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の地域構成」において、地球儀や地図を活用して世界の地域構成や位置関係を理解したり、各国の面積、人口などの特徴から世界の国や地域への関心を高めたりする活動</li> <li>・「日本の地域構成」において、世界の中での日本の位置や都道府県・地域区分・名称を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について地図や写真及び歴史的経緯もあわせて捉えるなど、日本の領域をめぐる問題について理解したりする活動</li> <li>・「世界各地の人々の生活と環境」において、5つの事例地域の気候や自然条件から人々の衣服や住居、暮らしについて考察したり、世界の言語・民族・宗教と社会との関わりから生活や文化の多様性について理解したりする活動</li> <li>・「世界の諸地域」において、自然環境や州内各国及び他地域との結びつきから世界各州の地域的特色を大きく捉えたり、州ごとに人口、環境、食料、民族、都市などの課題について多角的に理解・考察したりする活動</li> <li>・「地域調査の手法」において、愛知県名古屋市を例に、歴史・文化、自然・環境、人口・都市、産業、商業、交通のテーマ別に調査の具体的な課題を設け、観察や聞き取り調査に取り組んだり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動</li> <li>・「日本の地域的特色と地域区分」において、地形、自然災害と防災、少子高齢化と過密・過疎などの課題や資源・エネルギーをめぐる我が国の現状を捉えたり、地球の有限性と自分たちの暮らしとの関わりについて考察したりする活動</li> <li>・「日本の諸地域」において、地方ごとに自然環境や過疎化・人口減少、産業、伝統文化などの地域的特色を捉えたり、それぞれの地域での課題に対して地域ブランド、循環型農業など特徴的な取組の展開について理解したりする活動</li> <li>・「地域の在り方」において、熊本県水俣市を例に、地域の課題を調べたり、環境モデル都市を中心とする持続可能な地域の在り方について話し合ったりする活動</li> </ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「学習のまとめと表現」で地域の課題に対して主体的に考え、グループで対話したり、「クロスロード」で地球的課題の共通性や持続可能な社会づくりを考えたりするなどの学習活動が取り上げられている。</p>	
使用上の配慮等	<p>○ 「日本の諸地域」において、北海道における豊かな自然と観光を取り上げたり、持続可能な社会づくりの観点からアイヌ民族の文化を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 章や節などの末尾において、「学習のまとめと表現」のページを設け、主な地名や地理用語について確認したり、設定されたテーマについて自分の言葉で説明したりする学習活動を取り入れるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ ワイド版 (AB版) を採用し、1時間の授業を見開き2ページで構成したり、全ての生徒が学習しやすいよう、判読に適した配色やレイアウト、表現方法、文字などを使用したりするとともに、1人1台端末を利用した学習活動に向け、二次元コード「まなびりんく」を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>	
その他	<p>※中学校用教科書目録 (令和7年度使用 文部科学省) による</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> <li>○ 鹿追町や芽室町の写真、帯広市の雨温図が使用されている。本文中に「帯広市」(ルビ付)の記載があり、地元農産物を使ったお菓子などの加工品と関連づけて紹介されている。</li> </ul>	

## 令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 社会 (地理的分野)

番号	発行者略称	教科書番号
観点	帝国	地理・046-72
取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の地域構成」において、地球儀や地図の特徴を比較したり、世界各国の面積や人口、国境などから地域構成を大観し、世界の国々や地域についての関心を高めたりする活動</li> <li>・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して、日本と世界各地との時差や都道府県の名称、位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を捉えるなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動</li> <li>・「世界各地の人々の生活と環境」において、世界各地の気候に合わせた「衣食住」に着目して人々の生活の様子を考察したり、自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性について理解したりする活動</li> <li>・「世界の諸地域」において、世界の6つの州の自然環境や歴史・文化、産業から州ごとの地域的特色を大きく捉えたり、南アメリカ州では、「農地や鉱山の開発による地域への影響」という主題を設け、資料を読み取りながら地理的特色を理解したりする活動</li> <li>・「地域調査の手法」において、東京都練馬区を例に、自然環境や人口、都市や村落、産業など適切な主題を設けて追及したり、野外観察や聞き取り調査、文献調査を取り入れ、調査の視点や方法について理解したりする活動</li> <li>・「日本の地域的特色と地域区分」において、地図や資料を用いて自然環境や人口、産業、交通、通信などの特徴や変化を捉えたり、防災・減災を目指す地域の取組などについて理解を深めたりする活動</li> <li>・「日本の諸地域」において、自然環境、生活や文化、産業などから7つの地方の地域的特色を捉えたり、「中部地方の産業は、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたか」というテーマを設け、地域の課題を理解したりする活動</li> <li>・「地域の在り方」において、兵庫県神戸市を例に、収集した資料や情報をもとに地域の魅力と課題を分析し、要因を考察したり、構想した解決策について話し合ったりする活動</li> </ul> </li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元のはじめに「写真で眺める」を設定し、地域を概観したり、単元のまとめとして「学習を振り返ろう」を配置し、思考ツールを活用して対話したりするなどの学習活動が取り上げられている。</li> </ul>	
分量・内容の構成等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、脚注欄に小学校で学習した内容を確認できるように関連用語を提示するとともに、生徒自らがどのように社会参画していくかを考える「未来に向けて」を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> </ul>	
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本の諸地域」において、北海道における自然を生かした観光産業や、自然と共に生きるアイヌ民族の生活や文化を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 章・節・各本文において、学習内容を示した「章・節の問い」「毎時の学習課題」や、末尾に「学習を振り返ろう」「確認しよう」「説明しよう」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 教科書を活用した学び方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動に向けて、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> <li>○ 広大な畑が広がる十勝平野を紹介する写真として、芽室町と音更町で撮影された写真が使用されている。</li> </ul>	

## 令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 社会 (地理的分野)

番号 観点	発行者略称	教科書番号
取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	日文	地理・116-72  ○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「世界の地域構成」において、世界各国の面積や人口、名前や位置、国境などから地域構成を確認したり、国名の由来から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地図や写真を活用し、世界の中での日本の位置や世界各国との時差を確認したり、日本の領域の特色と北方領土や竹島、尖閣諸島のように日本が抱える領域の問題についての理解を深めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、各地の気候についての特徴やその地域の特色、暮らし方について考察したり、世界各地における宗教の分布や人々の生活について多様性を認め、理解を深めたりする活動 ・「世界の諸地域」において、州ごとの地域的特色を大きく捉え、アジア州では、「急速に発展している経済」というテーマについて考察したり、経済発展にどのような背景や地理的要因があるのかを理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、京都市伏見区を例に、自然環境、人口、都市・村落、産業、交通・通信の5つの視点から地域的特色を捉えるために、聞き取りによる調査、文献や統計による調査を取り入れたり、調査を行う際の視点などについて理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色を捉えたり、防災・減災のための取組を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、自然環境、交通・通信、歴史的背景などから7つの地方の地域的特色を捉えたり、「九州地方では、なぜ特色ある観光業が発達したのか」という主題を設けて地域の課題について理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、宮崎県宮崎市を例に、地域をより良くするためにはどうすればよいのだろうかという課題について考察したり、より良い地域の将来像について話し合ったりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、生徒が自分で考え、対話するための具体的な問いや活動を提示する「議論してみよう」を設けたり、「学び合い」マークを配置し、グループで話し合ったりするなどの学習活動が取り上げられている。
分量・内容の構成 分量等		○ 内容の構成・排列については、「学習のはじめに」や本文、脚注の「連携コーナー」に、小学校での学習内容を提示するとともに、地理的分野の学習に必要な地理的技能を習得する「スキルUP」を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等		○ 「日本の諸地域」において、北海道における自然環境を生かした観光や、アイヌの人々の生活や文化、アイヌ語に由来する地名を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 導入ページに、単元を貫く問いを設定する「学習のはじめに」「節の問いを立てよう」や各単元末に「まとめとふり返り」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の構成と学び方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動に向けて、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他		※中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○ 十勝平野の広大な畑作地域の写真を掲載するとともに、鹿追町での地域循環型農業、上士幌町での大型機械による搾乳など十勝の農業の特色について取り上げられている。